

広報ほんべつ

# 本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

Dec 2012.12  
No.1010



特集

素人役者

## 創作劇にかける

## 熱いおもい

表紙 創作劇に取り組む  
素人役者



福祉のまち本別町を支える  
数多くの障がい者団体が加  
盟する、チャレンジド・ネッ  
トワークほんべつ（新津和  
世代表）。

その加盟団体を中心に集まっ  
た有志の素人役者たちが、  
障がい者週間に合わせて実  
施される記念事業で、「発  
達障がい」をテーマにした  
創作劇に取り組みます。  
このテーマでの取り組みは  
今年で2回目。

ねらいは、劇を発表するこ  
とではなく、まだまだ知ら  
れていない「発達障がい」  
について啓発し理解を深め  
てもらうこと。さらに、障  
がいのあるなしに関わらず、  
皆が本別町で生活し続けて  
いけるまちを目指すことで  
す。



# 素人役者 | 創作劇にかける 熱いおもい

## interview



新津 和也 さん  
チャレンジド・ネットワークほんべつ代表

### ▼創作劇を作った きっかけは

2年前までは、認知症の高齢者を地域で支えるというテーマで介護劇が実施されていました。しかし、障がい者福祉への理解や認知度が低かったこともあり、菊池康祥さんから発達障がいについてやってみてはと提案され、昨年度から実施しています。

### ▼原作はどのみんこ

内容については、自分の経験と発達障がいの子を持つ親の話

を基に作りました。発達障がいの啓発が目的のため、「分かりやすく」を心掛けました。また、スタッフが劇を作り上げていく段階で、発達障がいへの理解を深めてほしい、劇を見に来た人に少しでも知ってもらいたいという思いを込めました。

### ▼今後の取り組みは

劇だけにとらわれず、さまざまな障がいがあることを幅広い人に伝えるため、継続して活動していきます。

## チャレンジド・ネットワークほんべつ

町内の障がい者団体が、「障がいの種別、年齢、性別」を超えてお互いに理解し合い、本別町の障がい者福祉推進に協力するとともに、広く障がい者福祉への理解を促進、啓発していくことを目的に設立。

- 設立 平成15年11月
- 代表 新津和也 (NPO法人インクルード代表)
- 加盟数 10団体 身体障害者福祉協会本別町分会  
本別町手をつなぐ親の会  
NPO法人ほんべつつづきの園  
NPO法人インクルード  
さわやかサークル  
本別町特別支援教育振興会  
本別ことばを育てる親の会  
日本自閉症協会北海道支部十勝分会  
銀河サロン運営委員会  
本別・free life
- 事務局 本別町社会福祉協議会・本別町総合ケアセンター



昨年取り組んだ創作劇

## 12月3日から

12月6日  
「障がい者SDG」  
昭和50年に「障害者の権利宣言」が国連総会で採択された日であり、国際障がい者デー」として定められた日です。

12月9日  
「国際障がい者デー」  
昭和57年に「障害者に関する世界行動計画」

### 1劇の概要

原作は、チャレンジド・ネットワークほんべつ代表の新津和也さん、脚本構成は町総合ケアセンターの菊池康祥さんが担当。3部構成の劇は、20年後の2032年、父親が本別町での生活を思い出しながら、子供たちの成長とともに家族で歩んだ20年を表現した作品です。人生を通して、家族の葛藤や不安を抱えながらも一歩一歩成長し、未来の本別町へ願いを込めたドキュ



練習風景

### 1劇を通して「発達障がい」の理解を深める

今年の演題は、「自閉症のままだ地域で暮らす」。発達障がいという言葉は、耳にすることはあるが、どのような障がいなのかは、まだまだ知られていないのが現状です。そのため、観客に分かりやすく伝え理解を深めてもらえるように、せりふが難しくならないように演じる工夫もされています。

### 第1回打ち合わせ

#### いよいよ創作劇 本番へ向けてスタート

11月5日午後6時から開催された1回目の打ち合わせ会議。平日のため集合時間はバラバラでしたが、仕事の疲れも見せずに、出席者10人により劇の目的や内容、役割分担の確認と台本の読み合わせが、和やかな雰囲気で行われました。

### OCTVとコラボ

OCTVが創作劇に密着し、練習風景から本番までの様子を収録。スタッフ、出演者インタビューなども交えたドキュメンタリー番組を制作し放送します。

▶放送日  
12月22日(土)～28日(金)  
第18回ピバ！本別 拡大版 (25分放送)

▶放送時間  
午前11時30分～55分  
午後5時30分～55分  
午後10時30分～55分

OCTV取材班

## 12月9日は障がい者週間です

12月9日  
「国際障がい者デー」  
昭和57年に「障害者に関する世界行動計画」

障がい者福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高める取り組みを重点的に実施するため、12月3日「国際障がい者デー」から12月9日「障がい者の日」までの1週間を、障害者基本法で「障がい者週間」として定めたものです。

### OCTV取材班

上II会議の様子  
中II劇の概要を説明する菊池さん  
下IIせりふの読み合わせをする出席者

チャレンジド・ネットワークほんべつ主催

# 障がい者週間記念事業

とき **12月8日(土) 午前11時～**

ところ **中央公民館**

今年の記念事業は、それぞれの障がい者団体がイベントを企画し、実施します。ご家族そろってぜひご来場ください!



大ホール

**わたあめ・ポップコーン 無料配布**  
11:00～12:00  
わたあめ、ポップコーンを無料で配布します **数量限定**  
(社会福祉協議会/ボランティアクラブかめ)

**紙すき体験/作品販売**  
11:00～12:30  
牛乳パックから再生紙を作り、年賀状にします  
つつじの園の作品を販売します  
(つつじの園/手をつなぐ親の会)

**団体活動紹介 アートコーナー**  
11:00～12:30  
各団体の活動内容を展示します。みんなの思いがアートとして生まれます。何ができるかはお楽しみ!  
(各団体・参加者全員)

**創作劇 「自閉症のまま地域で暮らす」**  
13:30～15:00  
発達障害について理解を深めてもらう創作劇を行います  
(インクルード/そら/ことばを育てる親の会/自閉症協会)

**しめ飾り予約販売**  
11:00～15:00  
新年に飾るしめ飾り等を会員相互の親睦を兼ねて予約販売します  
(身体障害者福祉協会本別町分会)

**アフリカ太鼓を叩いてみよう**  
11:00～12:00  
アフリカ太鼓を叩いて、太鼓の音に触れてみませんか?  
(十勝N barafa)

**託児所を開設します** 13:30～15:00 第1和室  
お子さんの託児を行います。利用される人は事前に総合ケアセンターまでお申し込みください

**視聴覚室**  
**銀河サロン(食事会)**  
11:45～13:15  
\*カレーライスを100円で提供します  
\*受け付けで食券を販売します  
(銀河サロン運営委員会/ボランティアクラブかめ)

**第1会議室**  
**障害者手帳を活用しよう(学習会)**  
11:00～11:45  
\*障害者手帳で受けることができる制度等についての勉強会を行います  
(身体障害者福祉協会本別町分会)

**大ホール前ロビー**  
**チャレンジド・カフェ なんでも相談**  
11:00～12:30  
【メニュー】コーヒー・紅茶・ソフトドリンク・ケーキ  
\*カフェ横で無料相談を行います  
(本別・free life/さわやかサークル/特別支援教育振興会)

問い合わせ 本別町総合ケアセンター 障がい者福祉担当 ☎22-8520

## 深めよう 発達障がいへの理解

**代表的な発達障がい**  
自閉症、アスペルガー症候群  
自閉症は、人との関わりが苦手、コミュニケーションがうまくとれない、興味や関心の範囲が狭く、特定の物や行為へこだわりを示すなどの特徴を持っています。また、物の配置などにもこだわりがあるため、配置状況の変化を嫌い、変化に対応することが難しいこともあります。

**注意欠陥多動性障がい(ADHD)**  
自分の気持ちや行動をコントロールする力が弱く、行動面で問題となることが多い。  
「注意力と集中力に欠ける」「じっとしてられない多動性や、考えずに行動してしまう衝動性が見られる」のどちらかまたは両方の特徴をもっているため、勉強や仕事がかまぐさになり、忘れ物が多かったり、同じ過ちを何度も繰り返してしまったりするため、どうしても周囲から叱られることが多くなり、自尊心が低下してしまいがちです。

**学習障がい(LD)**  
全体的には知的な遅れはありませんが、聞く、話す、読む、計算する、推論するといった学習に必要な能力のうち、一つまたは複数の力をうまく使えないため、学習面で困ることが多いです。  
見たものを区別して読み取ったり、聞いたものを区別して聞き分けたりすることが苦手なほか、手先が不器用で運動発達に遅れがある人もいます。  
このため、人より時間がかかってしまったり何をやっても失敗ばかりしたりするので、自信を失ってしまうことも多くあります。

**精神障害者保健福祉手帳で受けられる福祉サービス**  
精神障害者保健福祉手帳の交付を受けることで、自立支援医療(精神通院)および障がい者福祉サービス(居室介護、ゲルマーホーム等)の受給対象になり、福祉サービスを受けられます。  
精神障害者保健福祉手帳の交付を希望される人、または福祉サービスを受けるための申請方法やサービスの種類等について詳しく知りたい人は、次までお問い合わせください。

**こんなサービスが受けられます**  
○十勝バス利用料金の割引、太陽の丘循環バス利用料の免除  
○自動車税・自動車取得税の免除  
○所得税・町道民税の所得控除、など

問い合わせ  
総合ケアセンター 障がい者福祉担当  
022-8520  
E-mail keasenki@town.honbetsu.hokkaido.jp

平成23年度版

# わがマチ マイタウン本別

# のだいどころ

このように使われました!

平成23年度の各会計の決算状況がまとまりました。

皆さんから納めていただいた大切な税金や国・道からのお金などが、どのように入ってきて(歳入)、どのように使われたか(歳出)、また、今の本別町には財産や預金、借入金などがどれくらいあるのかを、表や豆グラフを使ってできるだけわかりやすくお知らせしたいと思います。

## 一般会計の決算状況

保元(収入)と豆(支出)の割合を豆グラフで表しています。

**依存財源**：国や道の決定や割り当てに基づいて入ってくるお金のこと。地方交付税や国庫支出金・道支出金のほか、地方譲与税、各種交付金、また、地方債(町債)もこれに該当します。  
**自主財源**：町税など皆さんに納めていただくお金のこと。他に分担金および負担金、使用料および手数料、寄付金、繰越金等があります。財政の自主性と安定性を確保する上では、自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいです。

民生費 9億4,723万円

1人当たり 11万8,138円

児童や高齢者福祉の推進、社会福祉充実のために使われるお金です

13.6%

土木費 9億1,686万円

1人当たり 11万4,350円

道路の改良や維持、公営住宅の建設や管理などに使われるお金です

13.2%

公債費 8億9,410万円

1人当たり 11万1,512円

事業を行うために借りたお金の返済に使われるお金です

12.8%

総務費 8億6,314万円

1人当たり 10万7,650円

町の企画や防災、造成、選挙、庁舎の維持管理、放送、通信の整備などに使われるお金です

12.4%

衛生費 8億3,650万円

1人当たり 10万4,328円

保健事業やゴミ処理など、健康と衛生的な環境を維持するために使われるお金です

12.0%

教育費 4億1,452万円

1人当たり 5万1,699円

小学校・中学校での教育や社会教育(学校教育以外の教育)などに使われるお金です

5.9%

農林水産業費 2億7,820万円

1人当たり 3万4,697円

農業・林業の発展のために使われるお金で、農林道の整備、農業用施設・機械購入などに使われるお金です

4.0%

消防費 2億1,376万円

1人当たり 2万6,660円

池北三町行政事務組合への負担金に使われるお金です

3.1%

商工費 2億969万円

1人当たり 2万6,152円

商工業の発展・振興などに使われるお金です

3.0%

その他 5,054万円

1人当たり 6,303円

議会の運営、勤労者対策、災害復旧などに使われるお金です

0.7%

職員費 13億4,330万円

1人当たり 16万7,536円

職員の給料などに使われるお金です

19.3%

歳出  
総額  
69億6,784万円  
町民1人当たり 86万9,025円

歳入  
総額  
70億6,162万円  
町民1人当たり 88万721円

町民1人当たりは、平成24年3月末人口 8,018人で算出しています。

豆のマチほんべつだから(豆さやグラフ)

48.4% 地方交付税 34億1,466万円  
1人当たり 42万5,874円  
11ページに掲載しています

14.2% 国・道支出金 10億3,600万円  
1人当たり 12万4,764円  
国や道から入ってくる使道の決まっているお金です

8.7% 町債 6億1,558万円  
1人当たり 7万6,775円  
町が事業を行うために借り入れたお金で、いわゆる借金のことで

2.2% 地方譲与税 1億6,139万円  
1人当たり 2万1,288円  
自動車重量税など、徴収の利便性から一旦国税として徴収された後、市町村に一定の基準により譲与される税です

2.0% その他 1億3,841万円  
1人当たり 1万7,262円  
交通安全対策特別交付金や地方消費税交付金など、国や道から交付されるお金です

13.0% 町税 9億2,154万円  
1人当たり 11万4,934円  
町民の皆さんに納めて頂いた税金のうち、直接、町に入る税金で、町民税・固定資産税などです

3.2% 諸収入 2億2,491万円  
1人当たり 2万8,051円  
貸付金元利収入や介護保険収入、貯金利子などのお金です

2.7% 繰越金 1億9,242万円  
1人当たり 2万3,999円  
前年度に残ったお金です

2.0% 繰入金 1億3,951万円  
1人当たり 1万7,400円  
貯金(基金)を取り崩したお金です

1.7% 使用料および手数料 1億2,112万円  
1人当たり 1万5,106円  
公共施設の使用料や役場で発行する証明書類の発行手数料などです

1.4% 分担金および負担金 9,665万円  
1人当たり 1万2,054円  
農家の人が納める土地改良などの受益者分担金、老人ホーム入所負担金や保育料などです

0.5% 寄付金および財産収入 3,507万円  
1人当たり 4,374円  
町民の皆さんから頂いた寄付金や、財産運用(土地の貸し付けなど)によるお金などです

依存財源  
53億3,040万円  
75.5%

自主財源  
17億3,122万円  
24.5%

# 地方交付税

地方交付税は、国から交付される町の大きな収入源となっています

地方交付税は、法に基づき交付されるものです。うち普通交付税が、右のトラ豆グラフのとおり町の重要な収入源となっています。

- さて、普通交付税がどのように計算されるかという、
  - 全国的に標準となる町のモデルを作る
  - このモデルに必要な経費を計算する
  - 本町分は、このモデルの経費を補正して計算する
  - 算出された経費総額から本町の収入を差し引く
- このように計算したものが、町の普通交付税収入です。

地方交付税には2種類あります

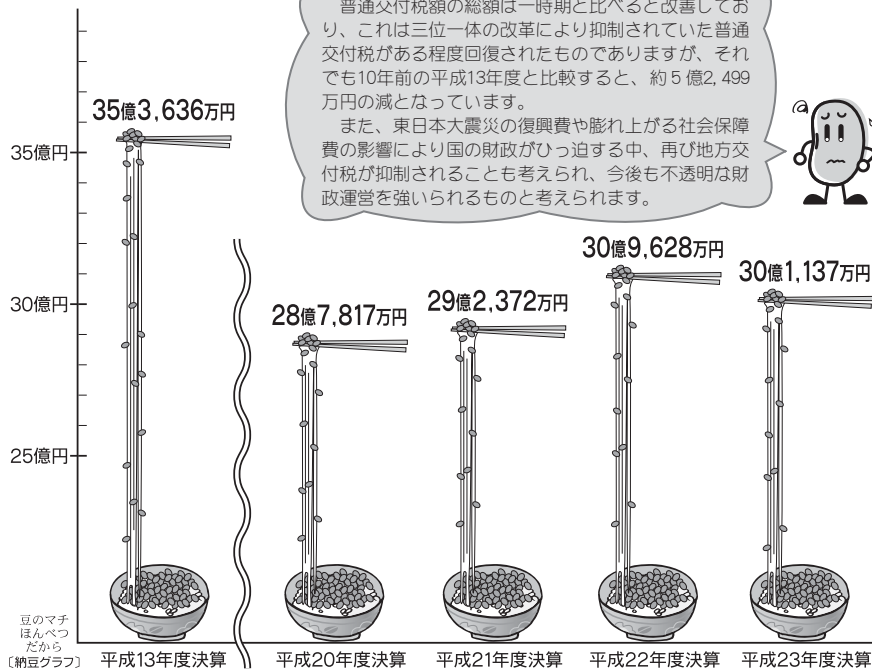
地方交付税には、普通交付税と、特別交付税があります。大きなものが普通交付税で、特別交付税は、災害があった時など特殊な事情に対して交付されます。

国の財政事情や政策が普通交付税に反映

普通交付税は、国税（所得税・酒税・法人税・消費税・たばこ税）収入の一定割合により交付されますが、景気の落ち込みによる税収不足により、国債の発行など、その他の財源も使って交付されています。従って、国の財政事情や政策が普通交付税交付額に大きく反映されます。

どのように普通交付税が推移してきたかは、下の納豆グラフの通りです。

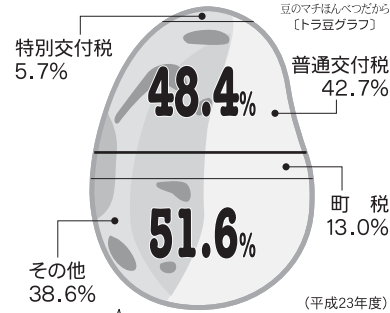
## 普通交付税の推移



普通交付税額の総額は一時期と比べると改善しており、これは三位一体の改革により抑制されていた普通交付税がある程度回復されたものでありますが、それでも10年前の平成13年度と比較すると、約5億2,499万円の減となっています。

また、東日本大震災の復興費や膨れ上がる社会保障費の影響により国の財政がひっ迫する中、再び地方交付税が抑制されることも考えられ、今後も不透明な財政運営を強いられるものと考えられます。

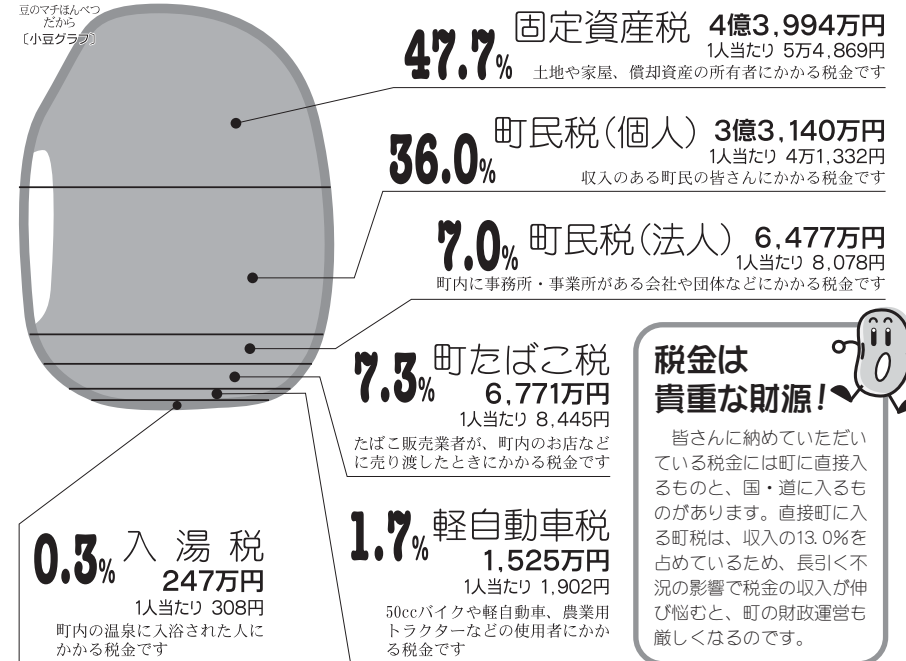
## 歳入に占める地方交付税



本別町の財政が厳しくなっている原因は、この普通交付税が大幅に減額されてきたことによるものです。

# 町税の内訳

総額 9億2,154万円  
町民1人当たり 11万4,934円



**税金は貴重な財源!**

皆さんに納めていただいている税金には町に直接入るものと、国・道に入るものがあります。直接町に入る町税は、収入の13.0%を占めているため、長引く不況の影響で税金の収入が伸び悩むと、町の財政運営も厳しくなるのです。

# 一般会計の財産および預金等の状況

**町にも預金があるんです**

町も皆さんの家庭と同じように、余裕のあるときには預金を積み立てて、大きな事業を行うときにやりくりが苦しくならないようにしています。

### 財産の状況

|            |           |
|------------|-----------|
| 公有財産 土地    | 1,559ha   |
| 公有財産 建物    | 10万6,682㎡ |
| 山林         | 1,301ha   |
| 有価証券および出資金 | 7,495万円   |
| 車両         | 61台       |

**豆辞典**

財政調整基金：町の財源を調整するための預金  
減債基金：借入金の返済に充てるための預金

### 預金(基金)等の状況

| 基金等の種別および目的   | 平成23年度末現在高 |
|---------------|------------|
| 積立基金          |            |
| 財政調整基金        | 14億6,740万円 |
| 減債基金          | 5億8,414万円  |
| 特定目的基金        |            |
| 福祉の充実         | 2億4,890万円  |
| 産業の振興         | 9,353万円    |
| 教育・文化・スポーツの振興 | 1億3,011万円  |
| その他           | 7億6,768万円  |
| 定額運用基金        |            |
| 土地開発          | 2億927万円    |
| その他           | 7,806万円    |
| 合計            | 35億7,909万円 |

## 平成23年度主な事業 ～一般会計分～

**生涯を通じて学び  
豊かな心を育むまちづくり**

|           |             |
|-----------|-------------|
| スクールバス購入  | 事業費 1,847万円 |
| 補助金 13.5% | 借入金他 78.5%  |
| 一般財源 8.0% |             |

**快適でやさしさのある  
まちづくり**

|   |             |
|---|-------------|
| 本別町都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業<br>(本別公園・清流公園整備) | 事業費 6,388万円 |
| 補助金 50.0%                               | 借入金 45.0%   |
| 一般財源 5.0%                               |             |

|            |                |
|------------|----------------|
| 栄町公営住宅建替事業 | 事業費 1億 1,082万円 |
| 補助金 43.4%  | 借入金 54.1%      |
| 一般財源 2.5%  |                |

|             |             |
|-------------|-------------|
| 向陽町公営住宅改善事業 | 事業費 6,090万円 |
| 補助金 55.8%   | 借入金 39.6%   |
| 一般財源 4.6%   |             |

|           |             |
|-----------|-------------|
| 除雪ダンプ購入   | 事業費 3,671万円 |
| 補助金 61.5% | 借入金 30.0%   |
| 一般財源 8.5% |             |

## 「ともに学び支えあい 活力のあるまちづくり」を目標として

町では、まちづくりの長期計画として、第6次総合計画（平成23年度～平成32年度）を定め、分野項目に分類して各種事業を実施しています。

**地域資源を活かした  
豊かなまちづくり**

|                       |              |
|-----------------------|--------------|
| 農産物加工施設（ゲンキッチン）整備事業   | 事業費 13,364万円 |
| 補助金 22.6%             | 借入金他 77.3%   |
| 一般財源 0.1%             |              |
| 道営経営体育成基盤整備事業（暗渠排水整備） | 事業費 937万円    |
| 補助金 27.0%             | 分担金 37.3%    |
| 一般財源 35.7%            |              |

**ともに支えあい安心・安全に  
暮らせるまちづくり**

|  |             |
|--|-------------|
| 介護基盤緊急整備等特別対策事業<br>(老人福祉施設・公民館・集会場等改修) | 事業費 5,722万円 |
| 補助金 94.1%                              | 一般財源 5.9%   |
| 街路灯整備                                  | 事業費 3,863万円 |
| 補助金 55.4%                              | 一般財源 44.6%  |

## 一般会計の借入額

### 借入金（町債）の状況

| 借入の目的                 | 平成23年度借入額  |
|-----------------------|------------|
| 道路新設改良舗装              | 2,110万円    |
| 除雪ダンプ購入               | 1,100万円    |
| 公営住宅建設                | 8,410万円    |
| 本別公園・清流公園整備           | 2,870万円    |
| 勇足保育所遊具等整備            | 630万円      |
| 道の駅・農産物加工施設（ゲンキッチン）整備 | 1億 420万円   |
| 消防広報車（指揮車）購入          | 440万円      |
| スクールバス購入              | 1,410万円    |
| 医療機械器具の購入             | 580万円      |
| 過疎地域自立促進特別事業          | 8,420万円    |
| 臨時財政対策債               | 2億 5,168万円 |
| 合計                    | 6億 1,558万円 |

※臨時財政対策債とは～地方交付税の代わりとして発行される地方債で、将来は地方交付税で償還額が充当される



農産物加工施設（ゲンキッチン）

## なぜ借入金（町債） をするの？

町で行う大きな事業には、国からの同意を受けてお金を借りるものがあります。当然その年度の収入だけでは足りないから借りるのですが、また違った意味もあるのです。皆さんが納めた税金などを使って10年、20年かけて借入金を返済していくことにより、長く使われる施設は、「使用する世代みんなで負担しよう」という意味もあるのです。

そして、返済金の一部を国が負担してくれる有利な借り入れを選択したり、以前に借りた利率の高いものを現在の利率の低いものに借り換えたりして、町の負担が少しでも小さくなるようにやり繰りをしているんですよ。



栄町公営住宅

## 特別会計・企業会計の決算状況

### 企業会計

|                  | 歳入         | 歳出         |
|------------------|------------|------------|
| 国民健康保険<br>病院事業会計 | 12億7,827万円 | 13億4,096万円 |
| 資本的収支            | 7,692万円    | 1億 630万円   |
| 水道事業会計           | 1億4,319万円  | 1億4,058万円  |
| 資本的収支            | 4,075万円    | 7,928万円    |

### 特別会計

|              | 歳入         | 歳出         |
|--------------|------------|------------|
| 国民健康保険特別会計   | 13億3,696万円 | 12億5,084万円 |
| 後期高齢者医療特別会計  | 1億 629万円   | 1億 622万円   |
| 介護保険事業特別会計   | 8億 17万円    | 7億9,501万円  |
| 介護サービス事業特別会計 | 2億8,724万円  | 2億8,370万円  |
| 簡易水道特別会計     | 9,331万円    | 9,253万円    |
| 公共下水道特別会計    | 4億7,893万円  | 4億7,494万円  |

**会計がどうなるの？**  
町では事業を効率よく運営していくために、大きく3つの財布（会計）に分けています。一般会計は、町政を運営するための中心となる経理をするための財布。特別会計は特定の収入・支出を他のものと区別して経理するための財布。企業会計は、独立採算制を基本としており、民間の会社のようになっています。



**一般財源**：何にでも使えるお金で、例えば町税・地方交付税などです  
**収益的収支**：経営活動に伴い発生（予定含む）するすべての収益と費用のことです  
**資本的収支**：将来の事業活動に備えて行う建設改良および建設改良にかかる企業債償還金などの支出とその財源となる収入のことです

## 借入金って、 あとどれくらい 残っているの？

特定の収入で運営される特別会計や企業会計を除く、平成23年度末の現在高は64億2,999万円で、町民1人あたり約80万円となっています。

地方交付税などの収入が大きく落ち込んでいることから、いっそうの経費節減などを実施して今後の返済計画を立てています。

※債務負担行為とは～1つの事業が単年度で終了せず、翌年度以降も支出が必要なもの

## マチの借入金現在高（平成23年度末）

総額 123億 8,606万円

町民1人当たり 154万 4,782円

|                  | 内 訳                                       | 金 額         | 町民1人当たり    |            |
|------------------|---|-------------|------------|------------|
| 一<br>般<br>会<br>計 | 道路新設改良舗装                                  | 13億 3,357万円 | 16万 6,322円 |            |
|                  | 農林道および農業基盤整備                              | 6億 5,896万円  | 8万 2,185円  |            |
|                  | 公営住宅建設および改良                               | 7億 2,514万円  | 9万 439円    |            |
|                  | 学校建設および改築                                 | 2億 8,293万円  | 3万 5,287円  |            |
|                  | 災害復旧                                      | 4,063万円     | 5,067円     |            |
|                  | 臨時財政対策債                                   | 23億 7,319万円 | 29万 5,983円 |            |
|                  | その他                                       | 10億 1,557万円 | 12万 6,661円 |            |
|                  | 小 計                                       | 64億 2,999万円 | 80万 1,944円 |            |
|                  | 特<br>別<br>会<br>計<br>・<br>企<br>業<br>会<br>計 | 病院事業        | 13億 166万円  | 16万 2,343円 |
|                  |   | 簡易水道        | 5億 8,497万円 | 7万 2,957円  |
| 公共下水道            |   | 32億 8,053万円 | 40万 9,146円 |            |
| 上水道              |   | 7億 8,891万円  | 9万 8,392円  |            |
| 小 計              | 59億 5,607万円                               | 74万 2,838円  |            |            |
| 【参考】債務負担行為（一般会計） |   | 3億 9,150万円  | 4万 8,828円  |            |

平成24年度  
本別町文化賞・スポーツ賞  
スポーツ奨励賞授賞式

平成24年度本別町文化賞・スポーツ賞・スポーツ奨励賞授賞式が11月3日、中央公民館大ホールで開催され、平和教育活動に尽力された細岡幸男さんが文化賞を、剣道の普及発展に寄与された鈴木清志さんがスポーツ賞を、優秀な成績を取めた1個人・2団体がスポーツ奨励賞を受賞しました。水谷令子教育委員長が「これからも健康で精進され、より一層ご尽力をいただきたい」と式辞を述べ、中野博文教育長の事後発表の後、受賞者に賞状等が手渡されました。高橋正夫町長と方川一郎町議会議長の祝辞に続き、受賞者を代表してスポーツ賞を受賞した鈴木さんが、「受賞者一同、活動を継続して精進していきます。今後も、より一層のご支援をお願いします」とお礼の言葉を述べました。



- ① 式辞を述べる水谷令子教育委員長
- ② 細岡幸男さん
- ③ 鈴木絢也さん（本別高等学校弓道部）
- ④ 本別高等学校弓道部
- ⑤ 謝辞を述べる鈴木清志さん
- ⑥ 家庭婦人バレーボール本別クラブ



町民文芸『沖積土』販売



パッチワーク



尺八連管



フォーク



出演者による本別小唄踊り



菊花が来場者を出迎えました

## 平成24年度 東日本大震災復興支援 ほんべつ学びの日 夢風事業 本別町文化祭 Culture Festival

本別町文化祭（町教育委員会・町文化協会主催）が11月1日から3日までの3日間、中央公民館を主会場に開かれました。

文化祭は、多くの皆さんが日ごろの活動の成果を発表する晴れ舞台。会場では、菊花や絵画などの作品展示、お茶会、囲碁コーナーなどの催し物のほか、太鼓や舞踊などの芸能発表が繰り広げられ、会場に足を運んだ約500人の目を楽しませました。



絵画



華道

### 一人ひとりが主役

文化祭で最もにぎわいを見せるのが、3日文化の日。中央公民館では、「お茶会」や「囲碁コーナー」などが催されたほか、数々の個性あふれる作品が所狭しと展示されました。午前10時から、文化賞・スポーツ賞等の授賞式が執り行われ、午後5時30分から始まった「芸能発表会」には1個人21団体から101人が出演するなど、1日を通して多彩な催し物が展開されました。来場者は、丹精込めて作られた作品に感心し、芸能発表会の出演者には温かい拍手を送りました。文化祭では、「発表する喜び」や「感動する喜び」など多くの喜びが生まれるとともに、一人ひとりが主役となり輝いていました。



お茶会



# いきいきほんべつ

## ふれあい祭り



### 11個人 21団体が出店

地域でさまざまな活動を繰り広げている各種団体やサークル、個人が一堂に会する「いきいきほんべつふれあい祭り」(実行委員会主催=田原美枝実行委員長)が11月18日、「学びを通じた新しいネットワークづくり」をテーマに町体育館で開催されました。

今年の参加は、日ごろ活発な活動を展開している11個人21団体。会場内は、健康、福祉、法律、各種団体の情報発信や特産品コーナー、フリーマーケット、バザーなど21コーナーが設けられる充実ぶりを見せ、来場した約1000人は、出店者との交流を図りながら楽しい1日を過ごしました。



# 太陽の丘に

## メガソーラー

### 再生可能エネルギーを活用したまちづくり

再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進める本別町が10月30日、平成21年7月から誘致を進めてきた、北海道電力のグループ企業で札幌市に本社を置くほくでんエコエナジー(高橋耕平取締役社長)から、大規模太陽光発電施設「メガソーラー」を建設する回答を受けました。

設置場所は、町国保病院北側の太陽の丘総合運動公園ゾーン内約4.7ha。着工予定は平成26年4月で、同年12月の運転開始を目指し、合計出力は1時間あたり1500kW(1.5メガ)を見込んでいます。

この誘致に伴い、町の新エネルギー政策の推進が図られるとともに、温室効果ガスの削減や公共用地の空きスペース有効活用のほか、固定資産税や土地賃貸料収入などの財政効果が期待されます。

同施設は、今年2月に本別町と基本合意を結び平成25年中に稼働を予定している、JAG北海道ソーラー開発合同会社(国際航業ホールディングス)に続く2例目です。



高橋正夫町長と握手を交わす、ほくでんエコエナジー高橋耕平取締役社長

詳しくは  
住民課 電話 011-222-8128



IP電話からの専用ダイヤル  
03-6700-1130  
(平日午前9時~午後5時)

※一般電話、携帯電話からご利用いただけます

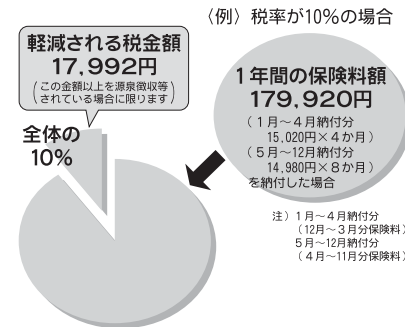
控除証明書についての専用ダイヤル  
0567-070-1117  
(平日午前8時30分~午後5時15分)

※国民年金保険料について詳しくは、次の専用ダイヤルにお問い合わせください。

※被保険者(ご本人)の代わりに納付義務者(配偶者・世帯主)が納付した場合は、納付義務者が社会保険料控除を受けられます

※国民年金保険料について社会保険料の控除の適用を受ける場合には、申告書の提出の際に「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」や「領収証書」など保険料を支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています

なお、控除証明書は平成24年11月上旬に日本年金機構より送付されています



国民年金保険料は、全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となり、税金が安くなります。

国民年金保険料は、全額が所得税・市町村民税等の社会保険料控除の対象となり、税金が安くなります。

全額が社会保険料控除の対象となります!

国民年金  
128

## 防火標語・ポスター 10/25 作品入賞者を表彰

平成24年度防火標語およびポスター作品入賞者の表彰式が10月25日、町内3小学校で実施されました。本別町防火管理者連絡協議会(三好喜美雄会長)、本別町危険物安全協会(朝日基光会長)が本別ライオンズクラブ(藤田尚幸会長)の協賛を得て、町内の小学校4年生から6年生を対象に防火標語とポスターを募集し、応募された標語116編、ポスター67作品の中から標語17編、ポスター19作品の入賞者を決定。三好会長らから賞状などを授け取った子供たちは、喜びの表情を浮かべていました。入賞作品は中央公民館ロビーにて防火標語・ポスター展として展示されたほか、防火ポスターの部最優秀賞(本別町防火管理者連絡協議会会長賞)の作品は、防火ポスターとして印刷され町内各事業所に掲示されています。入賞者は次の通り(敬称略)。

### 【防火標語の部】

- 本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝**  
「少しでも 出かける時は 火の用心」  
篠原 彩加(仙美里小6年)
- 本別町危険物安全協会会長賞＝**  
「気付いてね あっというまに 火の悪魔」  
広瀬 蘭(中央小5年)
- 本別ライオンズクラブ会長賞＝**  
「けしわすれ たいせつなもの うしなうよ」  
西山 千世羽(中央小4年)

### 【防火ポスターの部】

- 本別町防火管理者連絡協議会会長賞＝**  
有沢 玲那(中央小6年)
- 本別町危険物安全協会会長賞＝**  
加藤 明日香(仙美里小5年)
- 本別ライオンズクラブ会長賞＝**  
二瓶 未央菜(勇足小4年)



## 知名度向上とPR 10/5~8

10月5日から8日までの4日間、北海道ふるさと会連合会主催による「第18回北海道産直フェア」が東京都渋谷区代々木公園の特設会場で開催されました。会場では、関東在住の本別町出身者で組織している東京本別会(新津悦男会長)会員の皆さんのボランティアにより、本別町特産品の販売を通して、「豆のまち・本別町」を多数の来場者に発信して頂きました。



## パークゴルフで熱戦 10/21

第6回太陽の丘杯パークゴルフ大会(本別町・本別町教育委員会主催)が10月21日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。競技は男女別個人戦、54ホールストロークプレーで実施され、出場した町内外の腕自慢68人が、優勝目指して熱戦を展開しました。成績は次の通り。※本別町分

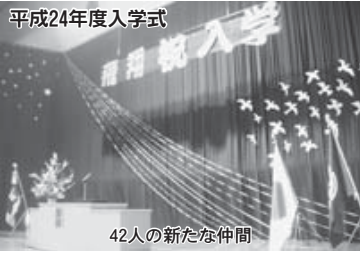
- 〈男性〉 優勝＝小林 秀光さん  
第3位＝湯山 嗣泰さん
- 〈女性〉 優勝＝西尾 敏江さん  
第3位＝渡辺 初子さん



**教育目標**

力行 力いっぱい学ぶ生徒  
方正 真面目に考え行動する生徒  
錬磨 身も心も鍛える生徒

「本別学びの日」関連事業～光風・実風の中で～  
学校祭、本中強歩、地域参観日 など



各学校の手作りページ

# HELLO 本別中学校



本別中学校では生徒の頑張る姿を地域参観日、学校だより等で家庭・地域に発信しております。今年も体育祭・文化祭・本中強歩・総合発表会など地域公開の行事がたくさんありました。学校だよりは、「郵便局」「信金」「道の駅」「町体育館」「公民館」「図書館」などで掲示しています。どうぞご覧ください。本年度も残り4か月となりましたが、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 吹奏楽演奏に 大きな拍手

10 28

本別中学校吹奏楽部（小林春香部長）による第30回定期演奏会が10月28日、同校体育館で開催されました。2部構成のステージでは、23人の部員が7つのパートに分かれ、クラシックやポップスなど11曲を演奏したほか、アンコールではこれまでの活動の様子をスクリーンで紹介しながら2曲を披露。会場に駆け付けた保護者など多くの来場者は、迫力ある演奏や美しい音色に大きな拍手を送りました。



## 両手いっぱい 秋の味覚

10 27

ほんべつ道の駅秋祭りが10月27日、道の駅ステラ★ほんべつで開催されました。会場では、ジャガイモやタマネギなどの本別産新鮮野菜が格安で販売されたほか、友好都市徳島県小松島市の特産品やかになどの海産物も人気を集めました。本別産の黒豆味噌を使った豚汁などを提供する店も出店するなど、町内外から訪れた多くの来場者は、両手いっぱいに秋の味覚を買い求めていました。



## 一歩大人に 近づきました

11 1-2

11月1日、2日の2日間、町内の飲食店やホームセンター、病院などで本別高校1年生75人による職業体験が実施されました。中央保育所には4人の高校生が訪問し、子供たちと一緒にねんど遊びや折り紙制作などに取り組みました。子供たちの制作を手伝った太田芳哉さんは「子どもはとてかわいいです。最初は緊張したけど、仲良くなることができて良かった」と話していました。

※この記事は、職場体験で役場を訪れた五十嵐斗夢さんが取材し、書いたものです。



## 映画やレコード、 朗読で秋を満喫

10 27

「楽しもう！図書館」秋の巻子ども映画会が10月27日、図書館で開催されました。秋の読書週間ミステリーランド企画の一つとして行われたもので、子ども向けアニメ映画「名探偵いぼアロとマーブル」など2本を上映。参加した親子ら13人は映画を楽しみながら秋のひとときを過ごしました。同日午後には、レトロ・レコード鑑賞会&朗読会が歴史民俗資料館で開かれ、25人が参加。なつかしのヒット曲や本別小唄などの音楽と、図書館ボランティアぶつくるによる「清兵衛と瓢箪」などの素敵な朗読に聴き入っていました。



## 野菜をプレゼント

10 26

北海道立農業大学校（加藤和彦校長）畑作園芸経営学科の生徒3人が10月26日、つづじの園（遠藤一雄理事長）へ、野菜（タマネギ、カボチャ、ジャガイモ各20kg）をプレゼントしました。野菜は、生徒を代表して、開口和樹さん（同学科2年）から「毎年、卒業記念としていただいている手作りハガキのお礼です。一生懸命作った野菜なので食べてください」と贈られ、遠藤理事長と、園生代表の曾根真祐美さんが「いつもありがとうございます。おいしくいただきます」とお礼を述べました。同園では、贈られた野菜を使ってカレーライスなどを作るそうで、みんな笑顔で野菜を囲んでいました。



## 7周年を迎えた 銀河サロン

10 25

子どもから高齢者までの幅広い世代が、気軽に集まれる場所として毎月開催されている、銀河サロン（運営委員会主催）の7周年記念交流会が、10月25日に中央公民館で開催されました。三井誠子運営委員長は「皆さんのおかげで7周年を迎えられました。参加してくれる皆さんに感謝し、これからも続けていきたいです」とあいさつ。高齢者や障がい者など町内外から参加した約70人は、読み聞かせや歌、ボランティアスタッフが用意した食事、認知症予防に役立つゲームと体操を楽しみながら、7周年を祝いました。



## 笑いで健康づくり

10 26

義経教室一般公開講座が10月26日、帯広大谷短期大学菅野節子教授を講師に迎え、中央公民館で開催されました。「笑いに勝る薬なし」と題した講話で菅野教授は、「笑うと免疫力が上がる、笑いは認知症予防に効果がある」と話したほか、簡単な笑顔づくりの体操などを紹介。参加した62人は、健康生活を送るための笑いの効果を学びました。



## 乳製品で おいしい料理

10 25

本別消費者協会（矢部志保子会長）による、牛乳や乳製品の消費拡大を目的とした「牛乳・乳製品料理講習会」が10月25日、農産物ものづくり館ゲンキッチンで開催されました。参加した同協会会員等は、牛乳やチーズ、本別産の小麦粉などを使い「えびグラタン」、「海藻と根菜のフレッシュチーズソースがけサラダ」など6品を調理。完成後は全員でおいしくいただきました。



## 交通安全を呼び掛ける **11 13**

町内の農業土木工事を請け負っている井原工業（井原章司朗社長）が11月13日、地域貢献活動の一環として、北8丁目ふれあい公園で交通安全街頭啓発を実施しました。参加した職員18人は、道行くドライバーに安全運転啓発チラシや素焼き黒豆など100セットを手渡し



ながら「安全運転でお願いします」などと交通安全を呼び掛けました。

## 自分の力を出し切る **11 13**

十勝の予選を勝ち抜き、11月24、25日に札幌市で開かれる第27回北海道スポーツ少年団剣道交流大会に出場する、野崎将秀さん（本別中1年）が11月13日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場を報告しました。野崎さんは、「自分の持っている力をすべて出



し切って頑張りたい」と意気込みを語り、中野教育長は「悔いのない試合ができるよう頑張ってください」と激励しました。

## 入学の準備 **11 14**

来年4月に小学校入学を控える町内の幼児48人（男25人・女23人）の新入学児童健康診断が11月14日、町体育館で実施されました。保護者に手を引かれた幼児らは、身長・体重測定、視力・聴力検査、内科・歯科検診を元気に



受診し、入学に向けて準備を整えました。

## バレーボールで熱戦 **11 11**

第40回全十勝家庭婦人交歓バレーボール大会が11月11日、本別中学校体育館で開催されました。大会には、管内から7チーム約80人が出場。2ブロックに分かれての予選後、上位5チームによる決勝トーナメントが実施され、各チームが優勝を目指し、熱い戦いを繰り広げました。成績は次の通り。  
※本別町分  
準優勝＝本別クラブ

**40年の歴史に幕**  
本大会は、昭和48年に第1回が開催されて以来今年で40回目。多いときには出場数が13チームを数えましたが、管内のママさんバレーボールチームの減少等により、今大会を最後に40年の歴史に幕を閉じました。



## オーストラリアへ元気に出発 **11 13**

本別町中学生・高校生国際交流研修派遣事業「第16次オーストラリア・ミッチェル訪問団（山下博志団長、14人）」出発式が11月13日、町体育館で開かれました。水谷令子教育委員長は、「失敗を恐れず積極的に行動し、五感を生かしてオーストラリアを感じて来てください」と激励。続いて、団員リーダーの山岸優太郎さん（勇足中3年）が「本別町の代表として頑張ってきます」と力強く抱負を述べました。最後に、山下団長が「学び、楽しみ、有意義な10日間を送ります」とあいさつした後、訪問団一行は、バスに乗り込み、元気に本別町を出発しました。



## いい歯の日 **11 8**

十勝歯科医師会本別歯科医会による、「いい歯」の日に合わせた「いい歯週間 in 道の駅ステラ★ほんべつ」が、11月8日に開催されました。会場では、町内歯科医師による検診や細菌検査、歯磨き指導などが行われ、25人の来場者は日ごころから口腔内を清潔に保つことの重要性について再認識しました。



## 見学旅行で本別町をPR **11 8**

本別高等学校（松下龍一校長）2年生16人と教諭5人が11月8日、JR京都駅前で、関西圏へ本別町を宣伝する活動を実施しました。この活動は、見学旅行の自主研修で行われたもので、生徒らは道行く人に本別ブランド「キレイママ」の素焼き黒豆と本別町の情報が掲載されたチラシ300セットを笑顔で手渡ししながら、「北海道本別町から来ました。素焼きの黒豆をぜひ食べてみてください」と本別町をPRしました。



## 北海道国民健康保険団体連合会表彰受賞 **11 2**

北海道国民健康保険団体連合会表彰式が11月2日、総合ケアセンターで開かれ、町国保病院の医師、看護師など20人と国民健康保険運営協議会委員1人の計21人に、同連合会の石子彰培理事長から表彰状と記念品が手渡されました。これは、長年にわたる住民の健康管理と国民健康保険事業の推進向上に尽力した功績が認められ贈られたもので、石子理事長は、「今後も継続して、地域医療のために活躍してほしい」と述べました。



## 中央ジャンプ少年団全道大会へ **11 7**

11月3日、4日に北見市で開かれた小学生バレーボール道東大会男子・男女混合の部で優勝し、1月12日から江別市で開催される北海道小学生バレーボール選抜優勝大会へ出場する本別中央ジャンプ少年団（谷藤有咲主将）の12人が11月7日、教育委員会を訪れ中野博文教育長に大会結果と全道大会出場を報告しました。中野教育長は「優勝おめでとう」と結果をたたえ、選手らは「コースを狙ってアタックを決めたい」「全国大会に出場したい」などと力強く抱負を語ってくれました。



# みんなの健康

340

先日、健康診断の結果を説明した時の話です。「悪玉コレステロールがかなり多いです、高脂血症ですね、治療したほうが良いですよ」と40代後半少し

## 「私はなんともないですけど」



か？

脳梗塞、心筋梗塞：病気になるってからじゃ遅れです。元にはもどりません。だから「健康診断」受けるんですよ？

20代、30代前半の高脂血症と違い、40代では動脈硬化がすすんでいる可能性があります。治療したほうが良い場合が多いと私は考えます。「運動をして食事に気をつけましょ」と笑って答える人もいます。でも、コレステロールが高くたったのは昨日、今日の出来事ではないので、

「去年も言われました。でも、なんともないし、健康だと思えます」とAさんは自信をもって答えてくれました。皆さんはどう思われますか？なんともない健康でしょうか？なにからかあつてから治療すれば良いのでしょうか？

10年以上の人が、かけて悪くなった結果なので。だから、急に運動をして、食事を工夫しても簡単には改善しません。無理をして体を壊すかもしれません。もちろん、生活を見直すことが第一です。せっかくご縁があったのですから、ぜひ一度お話しください。外資でもう少しお付き合いいただけませんか？Aさん

本別町国民健康保険病院  
内科医長 岩永健志

# 未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。  
お父さん、お母さんのたくさんの愛に囲まれて、ますます元気に育つてね！

北5丁目  
五日市 心愛 (満里くぐり)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

# 復興を願って

東日本大震災  
南三陸町



ジンギスカンを焼く町職員 バレシューズを買い求める来場者 豆を販売するJA本別町職員

## 町農産物などで 復興支援

宮城県南三陸町で開催される復興市へ向け、10月26日に役場前をマイクロバスとトラックで出発した宮城県南三陸町復興市支援隊（横田仁志団長）の一行9人（町職員7人、JA本別町職員2人）が10月28日、現地で開かれた同市で、町の農産物などを格安で販売し被災者や支援者等を元気づけました。

復興市への参加は、今回で3回目。支援隊のテント前には、隊員らの「いらっしやいませ」の大きな掛け声で大勢のお客さんが訪れ、持参したジンギスカン約150食、金時豆、小豆、黒大豆各30kg、パレイシヨ150kgを完売。売り上げ金81,500円は、今後の活動に役立ててもらおうと全額復興市実行委員会へ寄付しました。

# 銀河ホップアラウンド

## 足寄町

### 足寄動物化石博物館 体験メニュー

□レプリカづくり  
サメの歯、アンモナイトなど、16種類の中から選ぶことができます。  
□ミニ発掘(化石・クリスタル)  
工具を使って、石の中から本物の化石やクリスタルを掘り出します。

## 陸別町

### カナダ・イエローナイフ からのオーロラ生中継

「オーロラ生中継」を銀河の森天文台で行います。

期間中は、オーロラ観測で有名なカナダ・イエローナイフからのオーロラ中継画像をプラネタリウムにリアルタイムで投影します。

平成25年  
1月30日(水)ー  
2月10日(日)  
午後1時ー午後9時30分

□展示室観覧料

・一般 400円

・小・中学生、高校生、満65歳以上 200円

※幼児は無料です。

※レプリカづくりとミニ発掘は材料費として200円がかかります。

□開館時間 午前9時30分ー午後4時30分  
□休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日が休館日) および12月30日ー1月4日

□詳細 足寄動物化石博物館  
☎25191100

※開館中、オーロラ中継は随時行っています(1回15分程度)。なお、現地の天候等によりオーロラが見られない場合もあります。

※期間中は、オーロラ発生予報を銀河の森天文台ホームページ等でお知らせします。

□ところ 銀河の森天文台(陸別町宇遠別)

□入館料 大人 300円  
小人(小学生) 200円

※午後5時以降の入館は、夜間料金(大人500円、小人300円)になります。

※小学生未満は、無料

□問い合わせ 銀河の森天文台  
☎27181100

## ご寄付ありがとうございます

平成24年10月30日から11月13日

次の通りご寄付をいただきました。  
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★本別町学校給食共同調理場指定  
自家産ジャガイモ(きたあかり) 250kg  
…………… 拓農 布施耕一

★本別町国民健康保険病院指定  
タオル 50本・保冷剤用カバー 58袋  
…………… 共栄自治会婦人部一同

★本別町老人ホーム指定  
ダイコン 35本 …………… 匿名  
タオル 50本  
…………… 本別町赤十字奉仕団 委員長 佐藤郁子

★本別町特別養護老人ホーム指定  
六角テーブル2台・介護用いす3脚  
…………… 旭川市 有限会社コムス 代表取締役 矢萩勝義

★本別町指定  
交通安全啓発のぼり・ポール 15本  
…………… 帯広市 井原工業株式会社 代表取締役 井原章司朗

# 本のある暮らし

141

## 戸籍のまど

### お誕生

10月後半から  
11月前半の  
届出分

- 瀧澤大歳<sup>たいざい</sup> 修司<sup>しゅうし</sup> 10/9 新 町
- 古川奈菜<sup>なな</sup> 陽太<sup>やうた</sup> 10/9 北6丁目
- 塚林ことね<sup>つかばやし</sup> 智也<sup>ちや</sup> 10/11 東仙美里
- 幕内遥斗<sup>まくうち</sup> 久高<sup>ひさたか</sup> 10/12 美里別東高
- 水城芽依<sup>みづしろ</sup> 英明<sup>ひであき</sup> 10/24 北6丁目
- 大和田知咲<sup>おおわだ</sup> 敦也<sup>あつや</sup> 10/30 美里別西上
- 首藤琉生<sup>しゅうとう</sup> 智裕<sup>ちゆう</sup> 10/30 新 町
- 中川愛結<sup>なかつかわ</sup> 雅之<sup>みやの</sup> 11/2 北5丁目

### ご結婚

- (佐々木 孝 充<sup>たかあき</sup> 向 陽 町
- (佐 藤 玉 江<sup>たまえ</sup> 池 田 町
- (遠 山 順 正<sup>しゅんせい</sup> 山 手 町
- (道 見 倫 子<sup>りんこ</sup> 幕 別 町
- (畠 寿 之<sup>しゆん</sup> 北 8 丁目
- (西 村 舞 子<sup>まゆこ</sup> 江 別 市

### おくやみ

- 堀井鐵雄<sup>ほりい</sup> 78歳 10/22 新 町
- 三崎チカ子<sup>みやま</sup> 94歳 10/22 チエトイ2
- 熊本ヒデヨ<sup>くまもと</sup> 93歳 10/24 美蘭別
- 鈴木八郎<sup>すずき</sup> 76歳 10/29 北8丁目
- 古澤 清<sup>ふるさわ</sup> 80歳 10/29 弥生町
- 井出トシ子<sup>いで</sup> 91歳 11/4 美里別東下1
- 小野 進<sup>おの</sup> 80歳 11/8 上本別
- 國分國男<sup>くまの</sup> 87歳 11/15 北4丁目

## わたしたちのまち

前月比

人 口 8,099人(-11)  
男 3,971人(-8)  
女 4,128人(-3)  
世帯数 3,834戸(-6)

〔10月末日住民基本台帳〕

# たくさん読もう。 調べよう。

冬休みの自由学習、調べ学習などにこんな本を利用してはどうですか？

### ★小学校低学年から

## 昔の子どものくらし事典

監修/本 間 昇 (岩崎書店)

少し前の時代の子どものくらしや遊びを  
写真やイラストで紹介。



### ★小学校中高学年向き

## はじめてのおさいほう 全4巻

作/寺西恵理子 (汐文社)

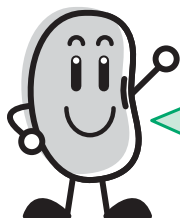
ぬい方、ミシンの基本、バッグの作り方、  
アップリケ、ボタンの付け方など簡単な方  
法を紹介。



## ポスターをつくろう! 全3巻

(汐文社)

イラストの描き方、画材や色の塗り方、  
レタリングなどを紹介。



ほかにも工作や折り紙などの本をたくさん展示しています。ぜひ目に来てください。



お問い合わせ先

## 本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112